

坂井北部地区「耕作放棄地再生活動(保育園児との芋ほり)」

令和6年10月8日(火)午前9:00から福井県あわら市二面地内で行われた、坂井北部土地改良区主催の耕作放棄地再生活動に80名(うちNPO会員6名)参加しました。

坂井北部土地改良区は、平成21年度から高齢化等により耕作放棄された農地の再生を目的として関係機関に再生活動を呼びかけ、農地を活用して将来を担う子供達(保育園児)と作物の植付・収穫体験を通じた情操教育を行っております。

NPO 美しい田園21北陸支部は、平成22年から本活動に参画しており、コロナ禍での参加制限が解除された昨年から再び、園児や福井県職員とともに会員が参加しております。

今回のさつま芋の収穫には、あわら市公立保育園の「あわら子供園」と「金津子供園」の5歳児57名が参加しました。大勢の園児の参加ということもあり、10時から「あわら子供園」、11時から「金津子供園」を対象に2部制で収穫が行われました。



「あわら子供園」の園児たちとNPO会員



「金津子供園」の園児たちとNPO会員

NPO 北陸支部からは6名が参加して、これまで培った農作業技術をフルに発揮し、園児たちが掘りやすいよう予めスコップで掘り起こしました。土を掘る音に混じり、さつま芋に当たる音も少しだけ聞こえたように感じましたが、何とか作業を進め、その後に園児たちと一緒に楽しく芋ほりすることができました。

今年の夏も昨年同様に記録的な猛暑が続きましたが、改良区職員の皆さまの水やりなどの生育管理のおかげで、今年は大豊作でした(参加者は掘ったさつま芋を持ち帰り、美味しくいただきました)。芋を持ち帰った園児たちは楽しく芋ほりしたことをご家庭で話されるでしょう。



園児たちの笑顔を見るために会員の皆さんも頑張りましたね



芋ほりは楽しい思い出になったようですね

楽しく芋ほりする園児たちを見て、参加した NPO 会員の皆さんも頑張りました。
会員の皆さま、来年も宜しくお願いします。